

萩焼の湯呑に汲めり大福茶主宰 細野恵久 福祉3期

声変りした子に気づく歌留多取り 國永靖子 音文6期

初空や干支七巡の胸のうち 猿橋二三雄 福祉8期

青春てふ言葉を抱いて寝正月 加藤善巳 美工8期

惣領は帰らず令和明けにけり 太田 實 国際9期

日の始ローストビーフの焼き加減 大下絹子 国際15期

断捨離の念仏どまり年詰まる 中村建生 国際15期

覚束ぬ袱紗捌きよ初点前 藤本武子 国際15期

見合いては春着の姉妹微笑めり 山下 進 国際15期

息止まる三分間の初日の出 許斐國照 食文15期

初参賀令和の始む然として 沖本无辺子 国際17期

手ぎわよき娘の助手となるおせちかな 香春早苗 国際17期

初明り埴輪の女像微笑みぬ 仲田眞輔 国際17期

「いけずやわ」空へつぶやく春着美女 中村富美子 国際17期

初凧や遠き船足動かざる 宮本眞貴子 国際17期

杳として癒えぬ肋骨根深汁 兼清久子 福祉17期

ゴボウ抜き箱根の二区や蜜柑食ふ 大山吉春 国際18期

初夢の亡夫やにこやか在于しまま 小栗恭子 福祉18期

乱れ字の賀状案ずる病状を 潮江敏弘 福祉18期

海の香の底に鎮もる雑煮椀 野見山剛 福祉18期

迷ひ箸色とりどりの節料理 今井義和 美工20期

定まれる令和の御代や初明り 尾崎吾郎 美工21期

祝いの日ワインに添えた冬薔薇 黒木早苗 食文21期

民生の任を解かれて隙間風 宮脇暁美 食文21期

妖怪毎しめ縄掛けて水木の道 藤川敏子 国際22期

晴天に吾子の初蹴り弧を描き 大歳敦子 福祉22期

冬木立息ふかぶかと吸い込みぬ 大田直子 生還22期